

令和6年度当初予算編成方針



令和5年10月25日

予算編成方針のポイント①

Ⅰ 未来に向けた「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築にかかる経費【要求上限なし】

富山県成長戦略
(6つの戦略・KPI)

+

八つの重点政策
88の具
(ロードマップ)

〈斬新で効果的な新規・重点事業〉

【未来に向けた人づくり】
・子育て環境日本一の実現
(少子化対策・子育て支援)
・G7教育大臣会合の成果の
継承・深化 など

【新しい社会経済システムの構築】
・DX・カーボンニュートラル
の推進
・官民連携の推進
・関係人口の創出・拡大 など

幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山の実現

予算編成方針のポイント②

II すべての部門において、ウェルビーイング向上効果等を勘案して施策を検討

R5.1月 「富山県ウェルビーイング指標」を公表

R5年度

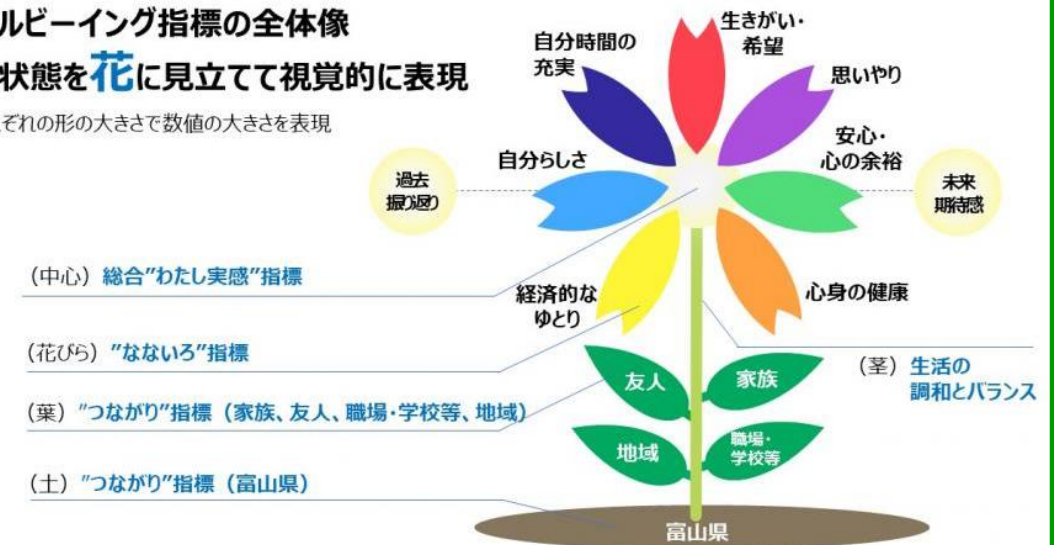
- ・30事業で指標の活用を試行
- ・県民ウェルビーイング政策構築事業の実施
- ・9月補正予算において、指標を意識した施策検討を試行

R5.10月 令和5年度ウェルビーイング県民意識調査の結果速報版を公表(調査は7~8月実施)

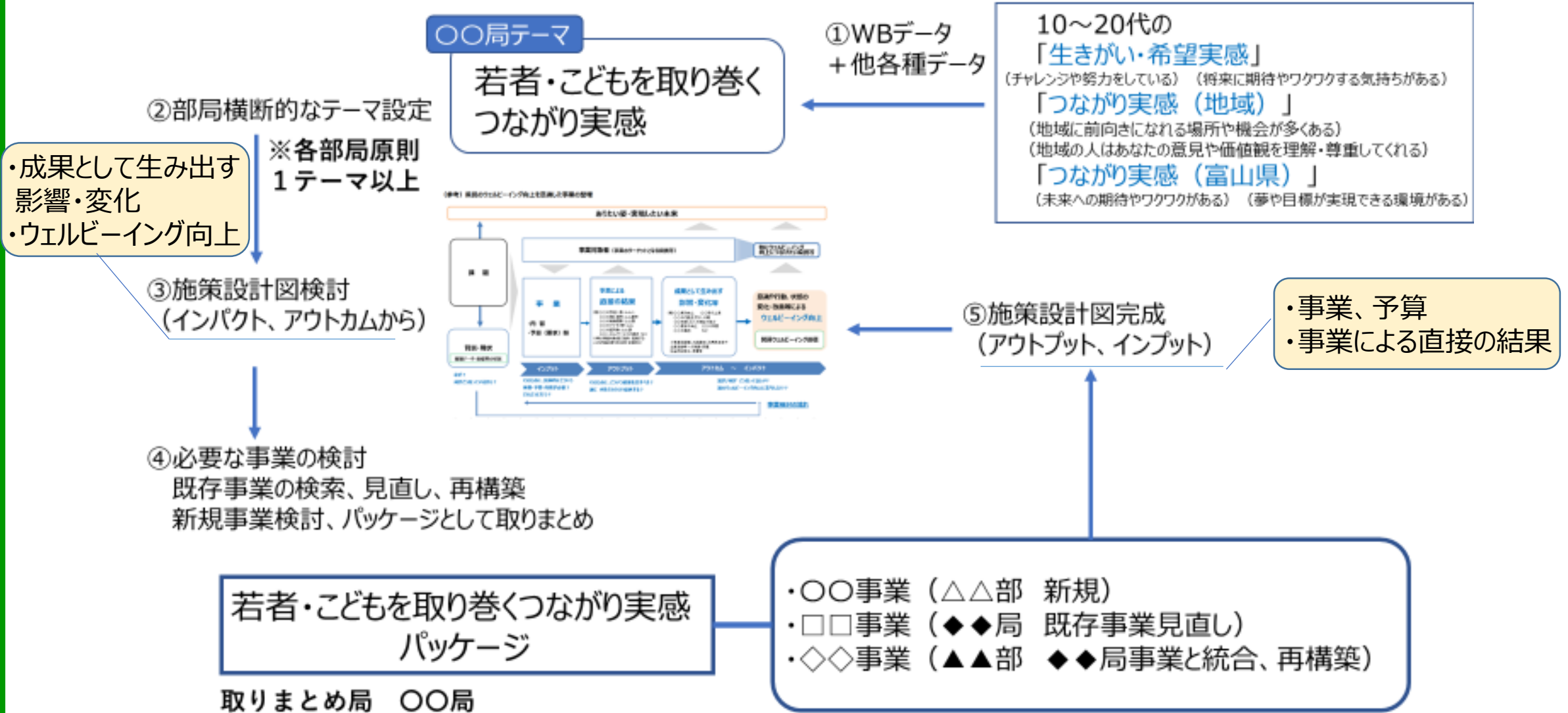
ウェルビーイング指標の全体像

…状態を花に見立てて視覚的に表現

※それぞれの形の大きさを数値の大きさを表現



【参考】「施策設計図」を使った事業構築のイメージ



【参考】「施策設計図」のイメージ

ありたい姿・実現したい未来

若者や子どもが、様々な人との良好なつながりの中で、自分らしく・いきいきと学び、働き、楽しみ暮らす。
そのための様々な選択肢、居場所や舞台がある。

課題

・進学期、就職期を中心に若い世代の社会減が多い状況（特に女性の社会減が多い）
・ウェルビーイングは、10代は相対的に高いものの、20代から低下。特に「生きがい・希望」など前向きな意識やつながりが低い状況

背景・現状

○人口 H10:112.6万人
→ R5.9:100.7万人
○15～34歳社会移動 女性△913、男性△102
○若者の県内定着 86.7%
○ウェルビーイング指標
10～20代平均
総合実感（現在）6.3
生きがい・希望 3.01
つながり（地域）2.89
つながり（富山県）2.95
○県政世論調査「富山県に愛着がある」の「とても愛着がある」10代：17.2%、20代33% 等

対象

10代～20代の子ども・若者

特に、教育過程にある、進学期や就職期前の子ども・若者

要求事業
(インプット)

直接の結果
(アウトプット)

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

I 若者等の提案実現
①ウェルビーイング・ロゲイニング事業 ◇◇万円
②交通快適実証事業 △△万円

II 若者等のチャレンジ応援
①地域課題解決若者コンテスト事業 △△万円
②富山チャレンジフェス開催 △△万円

III 若者等のつながり支援
①富山の自然や食の体感プロジェクト事業 △△万円
②若者×地元経営者お仕事つながりイベント △△万円

I ①-1：若者等の運営・企画参加○人
I ①-2：ロゲイニング大会参加○人×△回
リピーター率 □%

I ②実証参加 ○人
改善提案○件

II ①：企画提案○、参加者□人、実現支援△件

②：出演者□人、サポーター○社、参加者○人

III ①：体感ツアーイベント□件開催、○人参加

②：参加者○人、経営者○人×□回

・自分自身を肯定的に捉え、積極的にチャレンジする意欲の向上
・地域や社会に積極的に関与し、貢献できる自己有用感の向上
(地域活動参加者数、体験率の増)

・移動の快適性向上

・地域や富山県の良さの再認識、愛着、誇り
(富山県を自信持って誇れる人の割合増)

・他世代等の交流が広がり、他者への関心、相互理解が深まる

・前向きなチャレンジを周りが尊重し、実現を応援できる

生きがい・希望実感

・目標を持ちチャレンジする心
・将来への楽しみ、ワクワク感

つながり実感（地域）

・様々な人との交流、相互理解
・地域で前向きな気持ちになる
・地域での自己有用感

つながり実感（富山県）

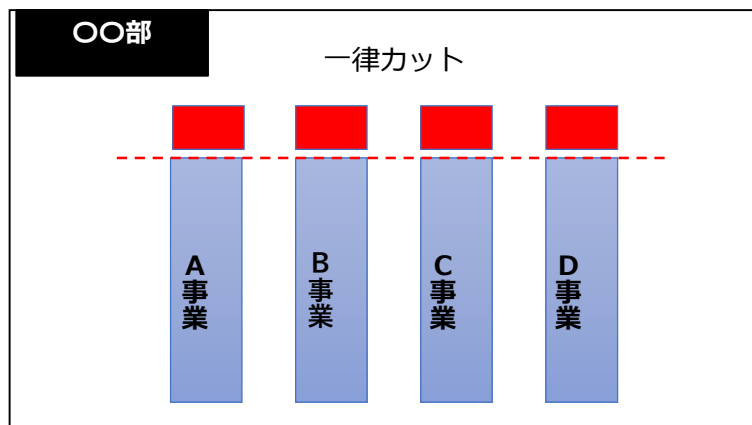
・交通不安の解消、
・富山県でこれからも自分らしく
生きられる希望・期待感

予算編成方針のポイント④

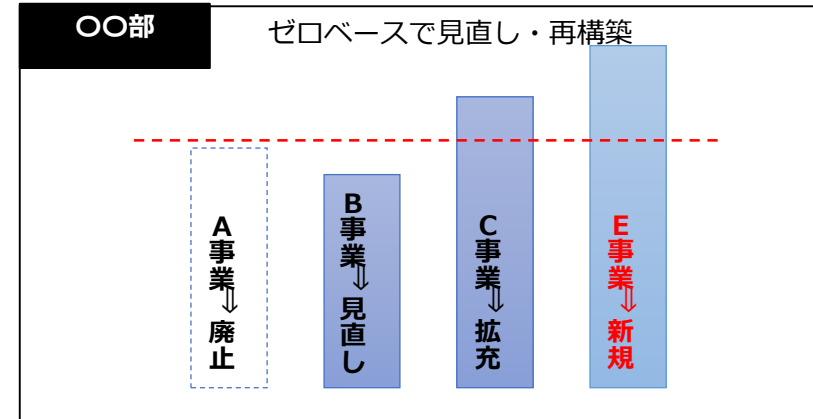
IV 既存事業の抜本の見直し・再構築の深化

- ▶ 既存事業は、ゼロベースで検討し、見直し・再構築
(継続事業については、前年度当初予算額の範囲内)

<良くない例>



<あるべき姿>



- ▶ 「官民協働事業レビュー」の対象(24)事業に係る予算編成過程を
県民に「見える化」

予算編成方針のポイント⑤

V その他

1・デジタル技術(AI・RPAなど)の積極活用

業務プロセスの見直しや事務の簡素化、ペーパーレス化を推進

2・効果的・効率的な情報発信

「伝える」事業について、デジタルマーケティングを活用するなど、ターゲットに応じ
「作る・届ける・分析する」予算を戦略的に配分

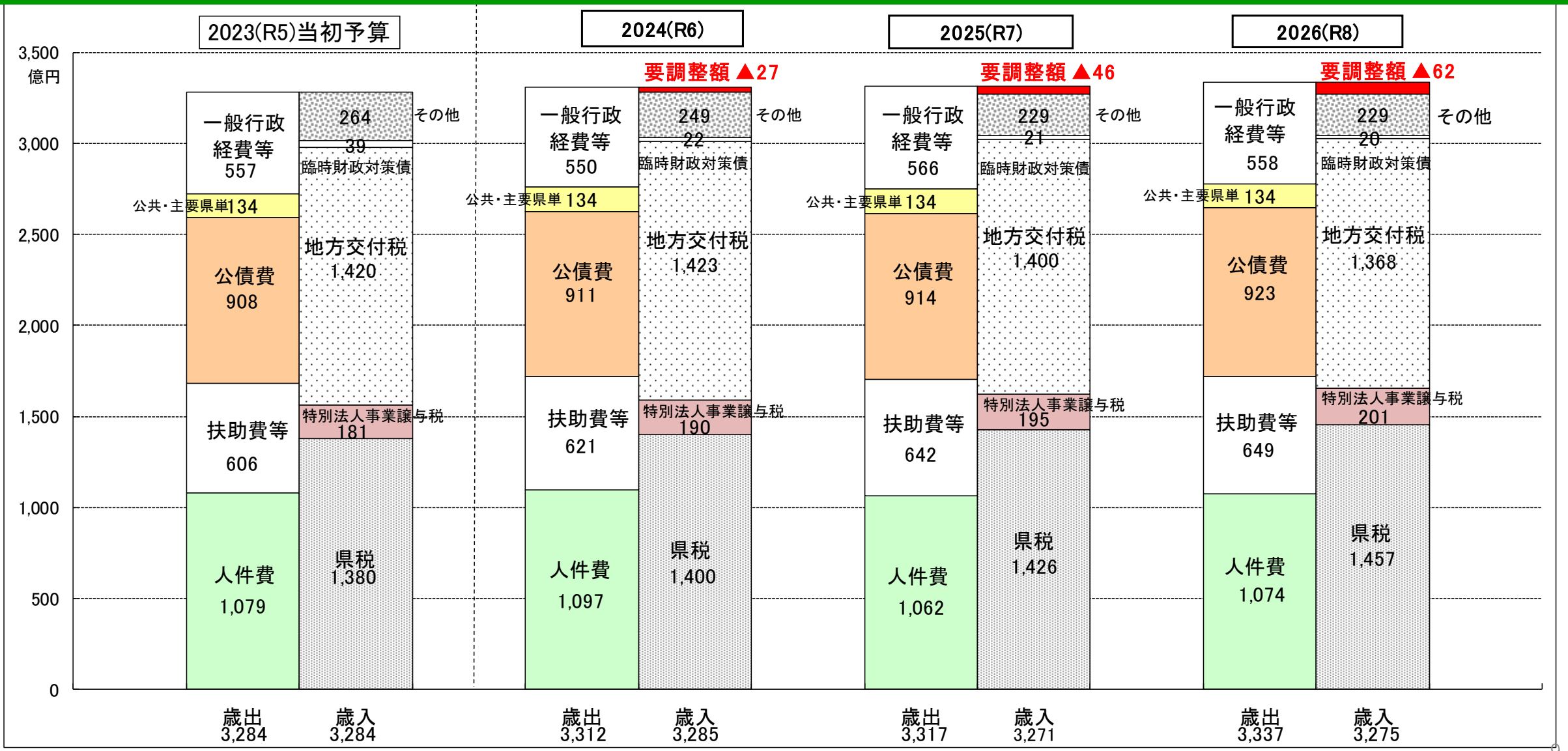
3・サンドボックス予算の活用

4・ふるさと納税をはじめとする積極的な歳入確保

「幸せ人口1000万」を目指した関係人口の増加と歳入確保を、一体的に推進

5・国予算(経済対策)を踏まえた対応

(参考) 中期的な財政見通し (一般財源ベース) <令和5年10月試算>



(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質税収ベース。